



8月は台風 11 号による大雨の後、不安定なお天気が多く、20 日には局地的な豪雨に見舞われた広島市北部。土砂崩れが発生し、住宅が押しつぶされるなどして多くの死者、行方不明者が出ました。近年、局地的な豪雨が各地で増え、山地や河川の多い日本では、「いつ・どこで・どんな」自然災害が起きてもおかしくない状況だと思います。

これまでの常識にとらわれず保育園で行っている避難訓練も幅広く事態を想定し、訓練していかなければと思っています。

プール遊びは楽しいよ

心も体も解放的になるプール遊び。子ども達一人ひとりがとてもいい笑顔です。大きい子が潜るのを目の前でみていて「すごいなあ。」と驚いたり、真似てみようとする「やっぱり、できやん。」とまた大きい子のするのをじっと見ている 3 歳児、4 歳児さん。こうして刺激を受けながら小さい子も少しずつできることが増えていきます。

苦手グループだった子が平気グループに行ったりと子どもなりに水とのかかわり方を知っていきます。プール開きから日を重ねるごとにどんどんダイナミックになってきました。

子どもってすごいですね。まさに子どもの力は無限です。子ども達は遊びを通してさまざまなことを学んでいきます。プール遊びも泳げるようになることではなく楽しみながら水と親しむことを目的としています。友達と一緒に水と関わりながら、バチャバチャとしてみたり、瞬間顔つけができたりとそんな様々な経験から水の中で安全に気持ちよく体を動かすこと、浮かんだり、潜ったりすることができるようになるのです。

先生達は十分に安全に配慮しながら、また一人ひとりの体調もよく観察しながら楽しくプール遊びができるように工夫し、子ども達の成長を支えています。楽しそうにキャーキャーとプールで歓声を上げている子ども達を見ていると子ども時代を子どもらしく思いっきり楽しく過ごしてほしいといつも思います。

やりたいことをしている時、子ども達の心は最も生き生きします。やりたいことを繰り返し何度も何度もしながら自分というものを育て、大きく成長していくのだと思います。

プールで顔つけがやっとならなくなったこと、潜れるようになったこと、プールの端から端まで泳げるようになったこと、かまきりに触れるようになったこと、泥だんごが上手に作れるようになったことなど、全てがこの子ども時代に実体験した大切な、大切なものです。

これからもいろんなことが経験できるように遊びのしかけ、また善き環境を私達大人が創っていくことが必要だと思っています。

